

講義コード	11C0128819	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員	高橋 美由紀	開講期	通年
科目名	ゼミナールⅡ(高橋)								
履修前条件						備考			
授業の目的	人口と経済の関係について歴史的視点から学び、現代の人口問題についても考えていきます。歴史的な家族の様子や人々の働き方の変遷を通して、現代望ましいワークライフバランスを考えてみましょう。また、地域の経済の歴史と人々の暮らしの変容についても考察します。ゼミナール大会に向けてグループ討論・報告を中心に行います。								
到達目標	グループでディスカッションを行い、選択したテーマに関し、説得的なプレゼンテーションが出来ること。グループで課題を設定し、研究をおこない、それについて論文にまとめること。グループ研究は、ゼミ大会で報告してもらう。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	課題図書は、自分が報告するのではなくても読んでおくこと。 毎回、グループでの課題の進捗状況を報告してもらうので、調べておくこと。 (授業前2時間、授業後2時間、計120時間) ゼミ合宿や博物館訪問などに参加すること。また、ゼミ大会にも参加すること。								
授業計画	【第1回】グループごとの課題の設定。 【第2回】人口と経済についての講義。 【第3回】課題図書の輪読1。 【第4回】課題図書の輪読2。 【第5回】課題図書の輪読3。 【第6回】課題図書の輪読4。 【第7回】グループ報告と討論1。 【第8回】グループ報告と討論2。 【第9回】グループ報告と討論3。 【第10回】課題図書の輪読4。 【第11回】課題図書の輪読5。 【第12回】課題図書の輪読6。 【第13回】コンピュータ実習1。 【第14回】コンピュータ実習2。 【第15回】PPTと統計を用いたプレゼン。 【第16回】グループ報告と討論4。 【第17回】グループ報告と討論5。 【第18回】課題図書の輪読7。 【第19回】課題図書の輪読8。 【第20回】英書輪読1。 【第21回】コンピュータ実習3。 【第22回】コンピュータ実習4。 【第23回】古文書演習1。 【第24回】課題図書の輪読9。 【第25回】課題図書の輪読10。 【第26回】歴史人口学についての講義。 【第27回】古文書演習2。 【第28回】ゼミ最終プレゼン1。 【第29回】ゼミ最終プレゼン2。 【第30回】ゼミ最終プレゼン3。 その他、ゼミ大会にも参加する。								
成績評価の方法	レポート・プレゼンテーション、ゼミへの参加態度。								
フィードバックの内容									
教科書	『歴史人口学の世界』速水 融(岩波書店)2012、『人口学への招待』河野 稔(中央公論社)2007、『老いてゆくアジア』大泉 啓一郎(中央公論社)2007								
指定図書	『人口減少と日本経済』津谷 典子、樋口 美雄(日本経済新聞出版社)2009、『人類史のなかの人口と家族』木下 太志、浜野 潔(晃洋書房)2003、『成長の限界・人類の選択』ドネラ・H・メドゥズ他(ダイヤモンド社)2007、『歴史人口学のフロンティア』速水 融、友部 謙一、鬼頭 宏(東洋経済新報社)2001、『歴史人口学からみた結婚・離婚・再婚』黒須 里美他(麗澤大学出版会)2012								
参考書	『ウェルカム・人口減少社会』藤正 巖・古川 俊之(文藝春秋)2000、『少子社会日本』山田 昌弘(岩波新書)2007、『人口で見る日本史』鬼頭 宏(PHP研究所)2007								
教員からのお知らせ	講義順序は、教室状況によって変更する場合があります。輪読書は、ゼミ生の希望によって変更することもあります。								
オフィスアワー	月曜 3限 前もってメールにて連絡すること								
その他									